臨時生活ケアセンター（8月17日～9月30日期）報告（速報版）

自彊館三徳寮に臨時に開設された「生活ケアセンター」（１回45名受入れ・二泊三日）の受付け状況について報告します。

受付は、あらかじめ配布した整理券の番号順に行われた。第１回目の整理券の配布は８月１６日、午後１時から医療センター前で行われた。この日は、定員枠８５５名分の正規の整理券と、補欠整理券３３枚が配布された。２回目の整理券配布は９月１７日に行われ、補欠整理券３５０枚が配布された。

いずれの配布日にも、前日から列ができる状況であった。

1. 利用状況

定員数は８５５名であったが、反失連受付終了後、三徳寮の受付けに間に合わなかったものが２名あり、実際の利用者は８５３名となった。

利用者８５３名の内訳は、１回のみ利用が６１９名、２回利用が１１４名、３回利用は２名であった。よって実人員は７３５名である。

1. 年齢構成

反失連受付け実人員７３７名の年齢構成は以下の通り（２回利用者で期間中に誕生日を迎えたものは高いほうをとった）。

平均年齢～５５．２歳、中央値～５７歳、最頻値～６０歳、最少年齢～２４歳、最高年齢～７１歳

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢区分 | ２０－２４ | ２５－２９ | ３０－３４ | ３５－３９ | ４０－４４ | ４５－４９ | ５０－５４ | ５５－５９ | ６０－６４ | ６５－６９ | ７０－７４ | 総計 |
| 計 | 1 | 2 | 8 | 9 | 42 | 103 | 142 | 178 | 197 | 52 | 3 | 737 |

1. 再利用までの期間

８月１６日の整理券配布から利用（８月１６日）までの最長待機期間期間は３２日である（２４名が該当）。

９月１７日の再配布から利用までの最長待機期間は１１日である。

２回以上利用者の再利用までの期間は、平均２５．４日、最大３８日、最少４日、最頻値３０日であった。

１０日未満～９名、２０日未満～２１名、３０日未満～３９名、３０日以上～４９名。

１０日未満のものはほとんどが整理券再配布の直前に１度目の利用（３０日以上のの待機の後）をしたものである。

1. 飛び番状況

整理番号順の紹介で、乗り遅れは無効とした。番号の飛んだ状況は以下の通り。

８月１７日～２名、８月１９日～１名、８月２１日～２名、８月２４日～５名、８月２６日～９名、８月２８日～１１名、８月３１日～１１名、９月２日～２９名、９月４日～１６名、９月７日～４６名、９月９日～２７名、９月１１日～２１名、９月１４日～６２名、９月１６日～４２名、９月１８日～１名、９月２１日～４名、９月２３日～５名、９月２５日～０名、９月２８日～１０名。

番号の飛んだ中には当人から連絡があって、仕事に就けた・出会いの家に入れた・入院した等理由の判明しているものもある。しかし、３０日以上の順番待ちはやはりあまり現実的ではなかったようだ。

1. 仮のまとめ

周知方法と受付方法に工夫がいる事が明らかになったが、野宿者対策としては有効に機能しうることを証明する結果が現れていると思う。規模の拡大・他の施策との連携も考え合わせ、長期に実施されるべきであると考える。